

豊岡市体育施設等個別施設計画（案）

1 計画の概要

1) 目的

本市が保有する体育施設等の個別施設計画として、適正配置・規模適正化に向けた基本方針を示す。

2) 計画期間

2019年度～2025年度（以後、10年ごとに必要に応じて見直し）

※ただし、施設の適正化を進めるためには、中長期的な視点が必要となるため、今後40年程度を視野に入れた検討を行う。

3) 対象施設

【体育施設】

地域	施設名	地域	施設名
豊岡	玄武洞スポーツ公園	日高	日高文化体育館
	市民体育館		神鍋野外スポーツ公園
	総合体育館		植村直己記念スポーツ公園
	豊岡総合スポーツセンター		神鍋山周遊公園
	神美台スポーツ公園	出石	出石B & G海洋センター
城崎ボートセンター	出石多目的屋内運動場		
菊屋島運動公園	出石総合スポーツセンター		
城崎スポーツ広場	但東	但東スポーツ公園	
竹野B & G海洋センター		但東中央体育館	
竹野中央公園		資母体育館	
中竹野ふるさと館	計21施設		

【関連施設】

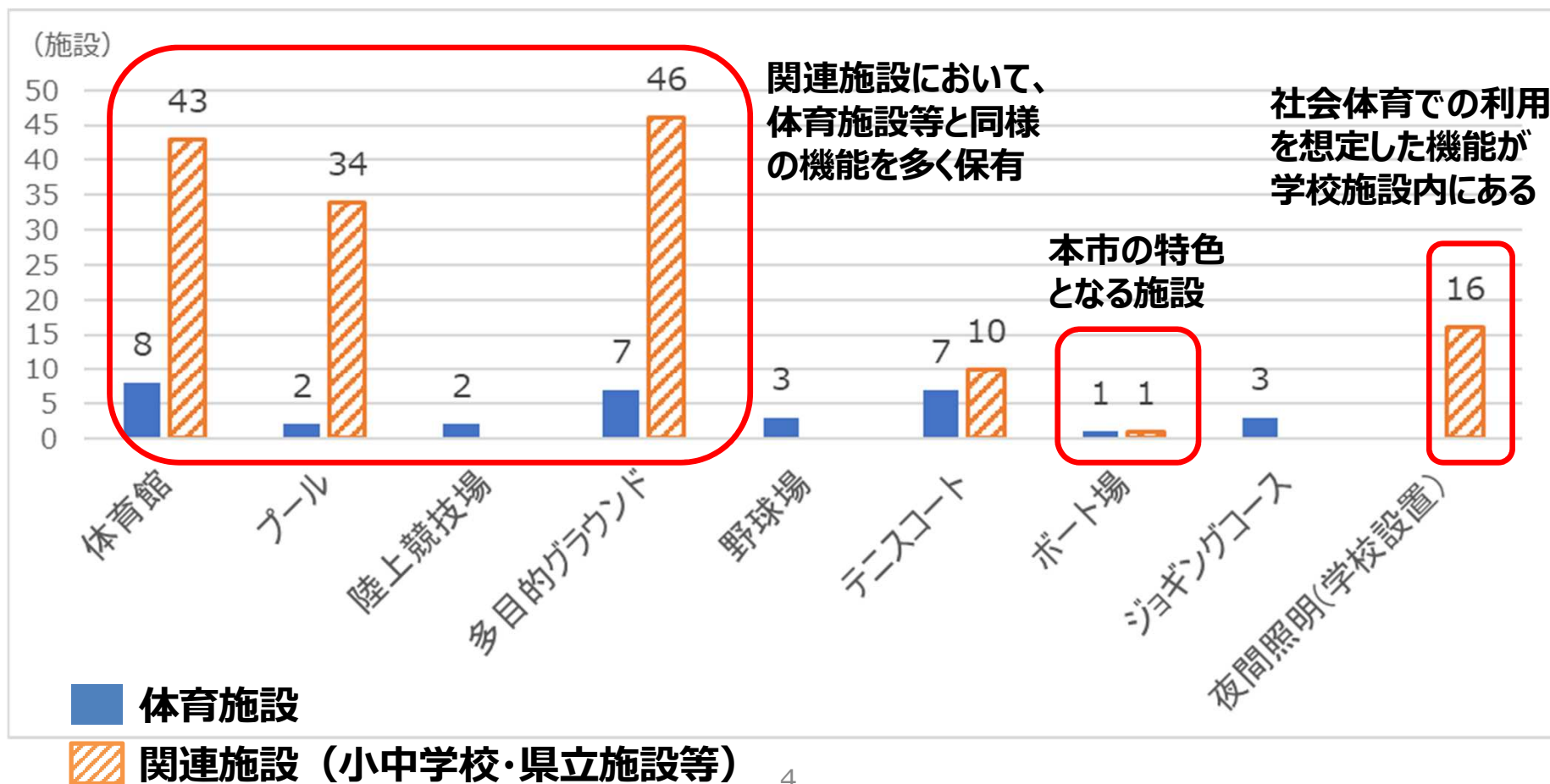
体育施設等と同様の機能を有する市内の施設を関連施設として位置づけ、体育施設等との機能統合等の可能性を探る。

他課所管スポーツ施設等	5 施設
健康増進施設、竹野多目的屋内運動広場、神鍋高原体育館、日高東部健康福祉センター、但東健康増進センター	
県立スポーツ施設、高等学校等	7 施設
但馬文教府、円山川公苑、但馬ドーム、豊岡高等学校、豊岡総合高等学校、日高高等学校、出石高等学校	
小学校・中学校（グラウンドへの夜間照明含む）	38 施設

2 体育施設等を取り巻く環境

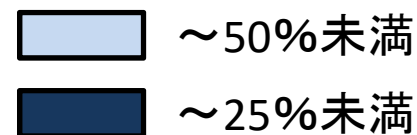
1) 体育施設の保有状況

体育館、プール、多目的グラウンドなどの機能は、小中学校などの関連施設において多く確保されている。



2) 施設の利用状況

【体育施設】



施設ごとにばらつきがあり、中には稼働率が50%に満たない施設や日平均利用者数が数人という施設も見られる。

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
体育館	96.4%		58.9%	83.2%	99.0%	38.4%
プール			76.0%		100%	
陸上競技場	56.3%				42.7%	
多目的グラウンド		44.7%	31.8%	88.0%	76.0%	24.4%
野球場	64.2%			61.9%	93.4%	
テニスコート	83.2%	65.1%	4.9%	75.1%	79.8%	17.5%
ボート場		25.4%				


※稼働率（2017年度）：使用があった日（日）/使用が可能な日（日）

【学校開放】

地域ごとにばらつきがあり、豊岡、日高、出石などで平均利用回数が多い傾向にある。

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
体育館	448回	158回	37回	272回	354回	79回
多目的 グラウンド	158回	37回	3回	87回	141回	63回
夜間照明	60回	18回	5回	95回	—	59回

※年間利用回数の地域平均（2017年度）

 市全体平均回数以上

3) 体育施設等における大会開催状況

- ・体育館や多目的グラウンド、野球場を利用した大会が多い
- ・同一日に複数の施設を利用する場合も多い ⇒ 1施設で対応しきれない

施設種別	既存施設数	施設別大会開催状況（2017年度）			
		年間使用数 （累計） （回）	日最大使用施設数（施設）		複数施設 使用日数 （日）
			同一大会	複数大会の 同日開催	
体育館	8	122	2	4	31
プール	2	0	0	0	0
陸上競技場	2	12	1	1	0
多目的グラウンド	7	86	2	2	17
野球場	3	124 (197)	3	3	38 (不明)
テニスコート	7	34	1	2	1
ボート場	1	4	0	0	0

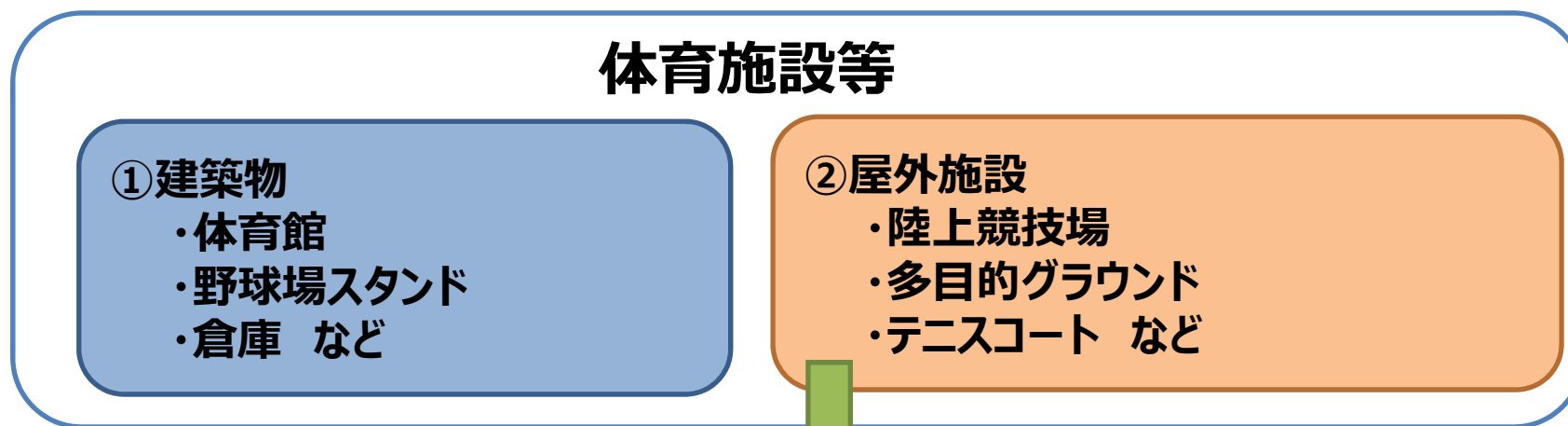
※野球場の()内の数字は、出石総合スポーツセンターで年間を通じて定期的に行われている大会（使用日不明）を含む

3 体育施設等の方向性

1) 体育施設等個別施設計画における目標

「豊岡市公共施設等総合管理計画」における数値目標

公共施設（建物）延床面積を40年間で34%削減



屋外施設についても施設保有量の最適化を行い、施設の更新費・維持管理費等も含めた**トータルコストの削減**を目指す。

2) 体育施設等の確保に関する基本的な考え方

体育施設等の持つ役割（機能）ごとに確保する。

① 拠点施設

⇒ 広域的な大会に対応（全国・但馬・全市規模）

② スポーツ交流拠点施設

⇒ 全国規模の大会・大規模なスポーツイベント等に対応

③ 地域施設

⇒ 市民が身近にスポーツに親しむ日常的な活動に対応

4 基本方針

1) 拠点施設保有の方向性

大規模な大会等の開催状況を踏まえ、大会機能の確保を図る。

施設種別	名称	所在地域
体育館	【メイン】 総合体育館	豊岡
	【サブ】 日高文化体育館	日高
陸上競技場	豊岡総合スポーツセンター	豊岡
多目的グラウンド	植村直己記念スポーツ公園	日高
	玄武洞スポーツ公園	豊岡
野球場	【メイン】 豊岡総合スポーツセンター	豊岡
	【サブ】 植村直己記念スポーツ公園	日高
	【サブ】 出石総合スポーツセンター	出石
テニスコート	神美台スポーツ公園	豊岡

2) スポーツ交流拠点施設の方向性

- 交流等の目的での利用状況を踏まえ、対応する競技を特化し、機能の確保を図る。
- 県有施設などの関連施設や民間施設と連携しながら機能を確保する。

施設種別	名称	所在地域
ボート場	城崎ボートセンター	城崎
多目的グラウンド	神鍋野外スポーツ公園	日高

3) 地域施設の方向性

旧市町を基本とした地域を単位として、各施設の利用状況を踏まえつつ、拠点施設での利用者の受け入れや、**学校施設などの関連施設の利用促進**なども行いながら、規模の適正化と機能確保を図る。

5 個別施設計画

1) 体育施設等の最適化のロードマップ

【豊岡地域①】

施設名	施設種別	基本方針	計画期間内（短期） ～2025	中期 ～2035	長期 ～2055
豊岡総合スポーツセンター	野球場	○維持	定期的な点検、維持管理		
	陸上競技場	○維持	定期的な点検、維持管理		
	テニスコート	×移転	適正規模検討 (他施設での受入検討)		跡地活用
神美台スポーツ公園	テニスコート	○受入	定期的な点検、維持管理		

【豊岡地域②】

施設名	施設種別	基本方針	計画期間内（短期） ～2025	中期 ～2035	長期 ～2055
市民体育館	体育館	× 移転	<p>安全性が確保できなくなった時点で停止</p>	建物解体 跡地活用	
総合体育館	体育館	◎ 受入	<p>統合検討（計画）</p> <p>設計・改修</p> <p>合意形成</p>	改修後施設供用	
玄武洞スポーツ公園	多目的グラウンド	○ 維持	定期的な点検、維持管理		

【城崎地域】

施設名	施設種別	基本方針	計画期間内（短期） ～2025	中期 ～2035	長期 ～2055
城崎ボートセンター	ボート場	○ 維持	定期的な点検、維持管理		
菊屋島運動公園	多目的 グラウンド	○ 維持	定期的な点検、維持管理		
城崎スポーツ広場	テニス コート	○ 受入	定期的な点検、維持管理		

【竹野地域】

施設名	施設種別	基本方針	計画期間内（短期） ～2025	中期 ～2035	長期 ～2055
竹野B&G 海洋センター	体育館	× 移転	他施設 での受入 検討	安全性が 確保できな くなった時点 で停止	建物解体
	プール	× 廃止	設備の更新は実施しない 安全性が確保できなく なった時点で停止	プール 解体	
竹野中央公 園	多目的 グラウンド	○ 維持	定期的な点検、維持管理		
	テニス コート	× 移転	廃止		跡地活用
中竹野ふる さと館	体育館	○ 受入	定期的な点検、維持管理		

【日高地域】

施設名	施設種別	基本方針	計画期間内（短期） ～2025	中期 ～2035	長期 ～2055
日高文化体育館	体育館	○維持	定期的な点検、維持管理		
神鍋野外スポーツ公園	多目的グラウンド	○維持	定期的な点検、維持管理		
植村直己記念スポーツ公園	多目的グラウンド	○維持	リニューアル計画検討	定期的な点検、維持管理	人工芝化 ※サッカー専用
	野球場	○維持		定期的な点検、維持管理	
	テニスコート	◎受入		定期的な点検、維持管理	※面積増
神鍋山周遊公園	ジョギングコース	－廃止	定期的な点検、維持管理	※地元団体との協議 ※譲渡または管理委任	

【出石地域】

施設名	施設種別	基本方針	計画期間内（短期） ～2025	中期 ～2035	長期 ～2055
出石多目的屋内運動広場	多目的グラウンド	○維持	定期的な点検、維持管理		
出石B&G海洋センター	体育館	○維持	関連施設等の今後の状況も踏まえた機能確保の検討	適地での更新	
	プール	○維持	定期的な点検、維持管理 ※設備更新		
出石総合スポーツセンター	野球場	○維持	定期的な点検、維持管理		
	テニスコート	○維持	定期的な点検、維持管理		
	陸上競技場→多目的グラウンド	○維持	定期的な点検、維持管理 ※用途見直し		

【但東地域】

施設名	施設種別	基本方針	計画期間内（短期） ～2025	中期 ～2035	長期 ～2055
但東スポーツ公園	多目的グラウンド	○維持	定期的な点検、維持管理		
	テニスコート	－移転	譲渡協議	※譲渡もしくは廃止	
但東中央体育館	体育館	△移転	関連施設等の今後の状況も踏まえた機能確保の検討 ※資母体育館とあわせた容量縮減	適地での更新	
資母体育館	体育館		関連施設等の今後の状況も踏まえた機能確保の検討 ※但東中央体育館とあわせた容量縮減		

2) 対策の費用と効果

①施設保有量の変化の見込み

施設分類単位の箇所数は、31%程度削減される見込み

施設種別		現状	2055年度 時点	
体育館	体育館	8	5	箇所（棟）
プール	プール（屋外）	1	0	箇所
	プール（屋内）	1	1	箇所（棟）
陸上競技場	グラウンド	2	1	箇所
多目的グラウンド	グラウンド	7	8	箇所
野球場	グラウンド	3	3	箇所
テニスコート	テニスコート	7	4	箇所
ボート場	ボートセンター	1	1	箇所（棟）
ジョギングコース	ジョギングコース	3	2	箇所
夜間照明（学校設置）	夜間照明	16	9	箇所
(参考)	合計	49	34	箇所

②保有面積等の変化の見込み

● 体育施設等における建築物の延床面積の削減率

施設種別	削減率 現状⇒2055時点	施設種別	削減率 現状⇒2055時点
体育館	28.0%	野球場	0%
プール	0%	テニスコート	0%
陸上競技場	52.2%	ボート場	0%
多目的グラウンド	-8.6%	計	19.4%

※上記に加え、建築物以外（テニスコートやグラウンド等の屋外施設や、照明等）も、規模の適正化を図ることで、総量削減を行う。

※**体育施設等（建物）が公共施設全体に占める割合は4.7%程度**

今後、関連施設の動向によって保有量に大きな影響を受けるため、適切なタイミングで対策の見直しを行い、可能な限り目標に近づける

③費用の変化の見込み

●更新費用

現状 (37年間総額)	対策後 (37年間総額)	削減率
130.66億円	111.53億円	14.6%

※夜間照明（学校施設）を除く

●年平均維持管理費

現状 (2019年時点)	対策後 (2055年時点)	削減率
1.22億円	1.06億円	13.3%

※一部機能が廃止されるものの費用削減は見込んでいない。

※機能を充実する施設の費用増加は見込んでいない。

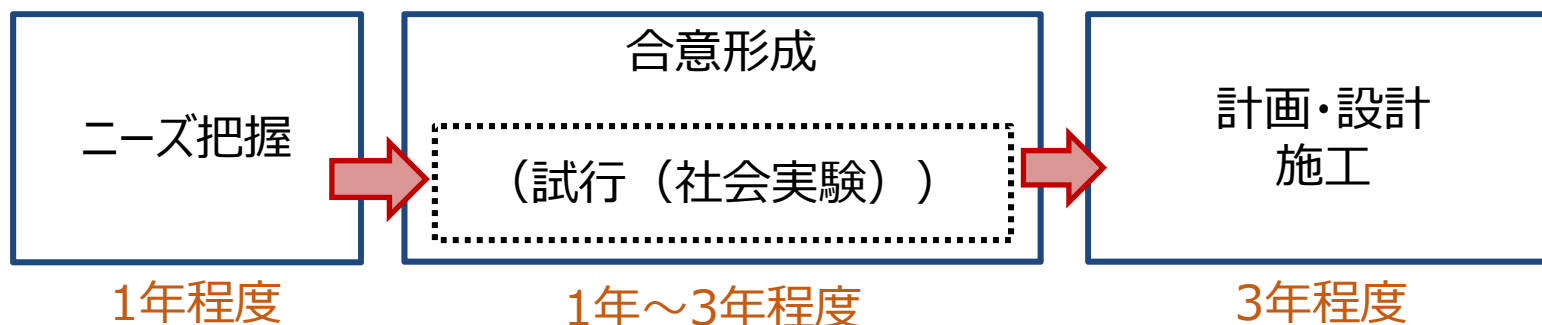
6 計画の着実な実行に向けて

1) 情報共有・合意形成の推進

対策の実施に当たっては、市民の施設利用の状況やニーズ等を踏まえ、具体的な機能確保策等を検討した上で決定

※市民・スポーツ関連団体等の利用者や施設管理者との協議等を行う

【対策実施までのフローイメージ】



2) 推進・取組体制

市役所全体で**横断的な議論**を行い、公共施設全体の適正配置・規模適正化を進める。

※小中学校をはじめとする関連施設も含めたあり方検討

※コミュニティ施設等との複合化 など